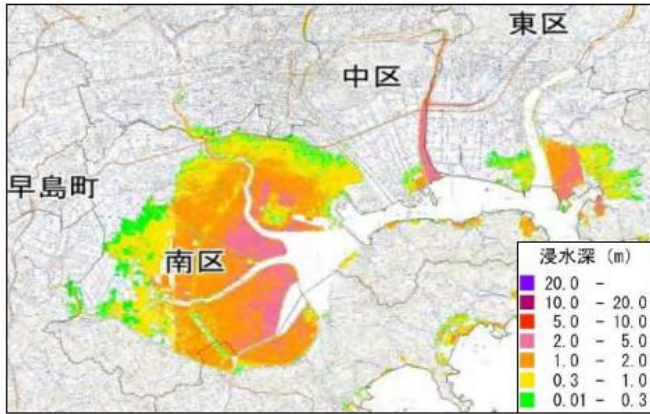


# 南海トラフ巨大地震被害と備え

岡山県は22日、東海沖から四国沖沿いの南海トラフで、マグニチュード9クラスの巨大地震が発生した場合の津波高と浸水域の想定図を独自に作製、公表した。



## 岡山県の想定される被害

発生直後の断水人口	上水道	発生直後の利用困難人口	下水道
<b>130</b> 万人		<b>100</b> 万人	
発生直後の停電軒数	電力	1週間後の避難者数	避難者
<b>120</b> 万軒		<b>25</b> 万人	

### まずは3日間をしのぐ

被害の大きな地域では、当日は電気も電話も水道も9割が使えない。1週間後には停電はほぼ解消されるものの、固定電話は2割、水道は7割が使えないままと見られる。家庭の自力の備蓄は、3日分が目安になるだろう。

- 水は1人9リットル
- 食料はアルファ米やカップ麺など9食分
- 連絡や情報集めに携帯電話を充電する電池

一人一人が日頃から備えていればその分、買い占めによる混乱も和らげるので準備しておきましょう。

最大津波高は倉敷、笠岡市の3.2メートルで、浸水面積は岡山、倉敷、笠岡市などで広がり11市区町村合計で187平方キロ。岡山市域の4分の1近くを占める計算だ。最大の岡山市南区(127平方キロ)では半分の64平方キロが浸水するとした。

巻き込まれるとほぼ全員が死亡するとされる水深1メートル以上の浸水域は117平方キロに上った。浸水の深さは海拔マイナス地点が多い笠岡湾干拓地が5メートル以上となったほか、岡山市南区で旧灘崎町の一部が3メートル以上となり、2メートル以上も広範囲にわたった。

※山陽新聞、朝日新聞より抜粋

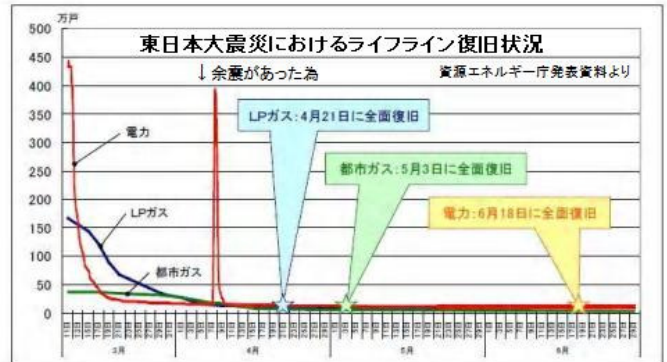
## LPガスがバックアップ

オンサイト型エネルギーは災害に強く復旧が早い



### 避難施設はLPガス常時使用を

東日本大震災をはじめとした過去の大規模災害では、避難所等でのLPガスの活躍が大きく報じられています。LPガスは個別供給なので災害後の復旧が早く、供給設備の設置が簡単なことがメリットです。しかし近年、特に都市などで、緊急時のLPガスの手配に手間取ることも想定されます。そこで、当社では非常時に避難所となる施設は、平時からのLPガスの使用をご提案しています。



## -EVENT CALENDAR-

### イベントカレンダー

【今が旬! いちご狩り特集♪】

※営業時間はいちごがなくなり次第終了します。

#### 岡山市サウスヴィレッジ

期間: 6月上旬まで  
9:00~17:00

所/岡山市南区片岡2468  
交/瀬戸中央道水島ICから県道21・22号経由で7km15分  
休/火曜日  
料/30分食べ放題(要予約)  
5月6日まで:小学生以上1500円  
5月7日~6月上旬:小学生以上1200円  
問/08636-2-5500

#### 安原観光いちご園

期間: 5月中旬まで  
10:00~16:00

所/倉敷市早高433  
交/瀬戸中央道早島ICから国道2号経由で5km約10分  
休/不定休  
料/40分食べ放題。大人1500円、小学生1300円  
問/086-482-0990

#### 果実の森公園

期間: 5月下旬まで  
受付10:00~

所/三原市大和町大草75-28  
交/山陽道河内ICから県道49号経由で約12km約30分  
休/期間中無休  
料/30分食べ放題。中学生以上1500円、小学生1200円  
問/0847-34-0005